

# イエス様と一緒に

シリーズ～神の国～

2013/1/13

# 人生は“旅”

- **どんな旅をなさいますか？**
  - ▣ 行き先は：国内・海外, 観光地・テーマパーク・温泉
  - ▣ 形態は：ツアー, 一人旅, 家族旅行, 友達と
  - ▣ 計画は：きっちり立てる, 行き当たりばったり
- **人生は旅(松尾芭蕉「奥の細道」)**
  - ▣ 「月日は百代(はくだい)の過客(くわかく)にして行きかふ年もまた旅人なり」
- **旅で大切なこと**
  - ▣ どこに行くか, 何をするかより, 誰と行くか!

## ルカによる福音書8章1～3節

イエスは神の国を宣べ伝え、その福音を告げ知らせながら、町や村を巡って旅を続けられた。十二人も一緒だった。悪霊を追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア、ヘロデの家令クザの妻ヨハナ、それにスサンナ、そのほか多くの婦人たちも一緒であった。彼女たちは、自分の持ち物を出し合って、一行に奉仕していた。



# イエス様の教えは「神の国」

- 「人の国」ではない
  - 先週お話ししました
- 「国」と訳されている言葉は「王位」「統治」の意
  - 英語では”Country”ではなく”Kingdom”
  - 場所や地域のことではなく、**支配が及んでいること**
- 神の、あるいは天の原理原則に基づく社会
  - 人間の作り出した原理原則は大丈夫か？

# イエス様は一人で宣教されなかった

- 宣教のはじめから弟子を集められた
  - 個性豊かな12人の弟子たち
  - ガリラヤ湖の漁師,徴税人,熱心党员...
- 女性たちも一緒だった!
  - ユダヤ教の教師たちは女性を弟子にしなかった
  - 「七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア」
  - 「ヘロデの家令クザの妻ヨハナ」
    - バプテスマのヨハネの首をはねたヘロデ王!



# イエス様は彼らを連れて旅をされた

- イエス様は「町や村を巡って旅を続けられた」
  - 教えを請うものを待っているのではなく…
- 弟子たちや女性たちを旅の道程で教育された（体験させた）
  - 人の国を捨てる（離れる）ことが必要だから
    - 「イエスはその人に、『鋤（すき）に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない』と言われた。」ルカ9:62
  - 神の国を学ぶため
    - 神の国は言葉で説明するよりも、実際に体験することが大切！
  - やがて彼らも宣べ伝えるようになるため

# あなたもイエス様と旅をしよう

- 「神の国」はイエス様との旅にある
  - 人生はしょせん旅なのだから
- イエス様との旅は
  - ツアーガイドはイエス様
  - どこに行くか、何が起こるかは分からない
  - 間違いなく、楽しく、スリリングな旅
- イエス様に仕えながら旅をしよう
  - 「彼女たちは、自分の持ち物を出し合って、一行に奉仕していた」
  - みんなで一緒に行こう!

# さあ,神の国ツアーに出かけよう!

